

## 渋谷保育園

SHIBUYA NURSERY SCHOOL

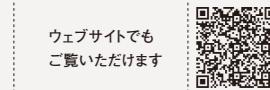
“狭い搬入路”と“広い遊戯室”という課題を解決した「テクノストラクチャー」

渋谷区は幼児教育と保育を継続的・一体的に行う保育一元化施設の整備を進めている。

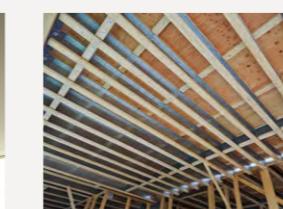
そのひとつがJR原宿駅から徒歩10分の渋谷保育園。地域に親しまれた旧園舎ではあったが、老朽化のため隣地への移転・再整備が計画され、公募型プロポーザルにより設計・施工を一括して行う事業者として升川建設株式会社が選ばれた。「プロポーザル仕様書には木造や鉄骨造の指定はなく、工法の選択が最初の課題だった」と升川建設 建築部の麦田 良洋氏。「現地は搬入路が4m道路しかなく、重量鉄骨は搬入が困難。とはいっても、これまでの経験から保育所には短方向で6m以上の空間が必要だと認識していたので、木造で大空間を造り出すのは難しいと判断し、木と鉄の複合梁「テクノビーム」を用いるテクノストラクチャー工法を採用した。テクノビームの剛接合梁なら10mのスパンが実現でき、分割した梁の現場接合も可能。今回の提案で特徴的なのは、2階の保育室とフルフラットでつながるウッド仕上げのバルコニーにより、室内外の段差を解消した点で、ここに3.4m×6.76m、深さ60cmのプールを設けた。室内外が一体の空間となり、子どもが回遊し水遊びもできる楽しい空間が創り出せたと思う」と語る。



所在地 / 東京都渋谷区神宮前  
事業主 / 渋谷区  
設計・施工 / 升川建設株式会社  
竣工 / 2020年2月  
建築工法 / テクノストラクチャー工法



保育室とフラットに繋がる2階バルコニーに設置されたプール。  
奥行きのあるバルコニーは雨の日も外遊びができ、園児・保育士ともに好評



バルコニーを支える  
多数のテクノビーム



2階バルコニーと保育室を  
フラットに支える段差テクノビーム



テクノビームが剛接合されている上棟時の2階遊戯室



10mスパンが確保された2階遊戯室



車椅子対応の  
小型エレベーター



主な設備

- LED照明器具
- 小型エレベーター
- XLウェルハートV
- アラウーノ